

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	18206
----------	-------

1. 開設大学	広島修道大学 健康科学部	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	栄養生理・生化学体験実験 (トクホの効果検証)		
	学問分野	番号	名称
3. 担当教員	山内 有信 (健康科学部 健康栄養学科)		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 29 年 8 月 9 日 (水) 9 時 00 分 ~ 12 時 00 分 (90 分 × 2 回 相当)		
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /
	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	10 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>超高齢社会を迎えつつある今日、健康を維持・増進し、健康寿命を延伸することが今まで以上に重要となっています。そのような中、2015 年現在、日本の糖尿病人口 (20~79 歳) は、世界第 9 位と上位に位置しています。人口や寿命の関係もありますが、糖尿病は慢性疾患であり、その合併症は日常生活に支障を来すだけでなく、生命にも危険を及ぼします。</p> <p>食後に血液中のブドウ糖濃度 (血糖値) は上昇しますが、糖尿病は、この血糖値を上手に下げることができなくなった状態です。これは、体内で唯一血糖値を下げる作用を有するインスリンというホルモンの分泌量そのものの低下に伴うものと、インスリン作用が鈍くなったことに伴う 2 種類に大きく分類されますが、いずれにしても食後の血糖値の上昇をできるだけ抑えることが大切です。そのような中、食後血糖値の上昇を緩やかにする食品成分の研究も盛んに行われ、その中には特定保健用食品 (トクホ) として市販されているものもあります。そこで、血糖値の上昇を抑制する効果でもってトクホ表示を認可された飲料のうち、グアバ葉抽出茶に着目し、自分たちを使って本当に血糖値の上昇が緩やかになるのか (栄養生理学)、そしてそのメカニズムはどのようなものなのか (栄養生化学) について実験で検証してみます。</p> <p>実験 1 では、グアバ葉抽出茶または水と同時に砂糖を摂取して、摂取前、摂取後 30 分・60 分・90 分 (計 4 回) の血糖値の変化を指先からの微量自己採血による簡易測定で調べて比較します。</p> <p>同時に実験 2 として、唾液アミラーゼを使って、グアバ葉抽出茶による糖類分解酵素 (唾液アミラーゼ) の活性阻害に関する実験を行います。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 無料		
9. 開講条件※1 <input type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 (6 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7 月 14 日 (金) 以前の開講科目は 3 月末まで / 7 月 15 日 (土) 以降の開講科目は 6 月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 微量採血では若干の出血 (1 回 1 滴程度) と痛みを伴います (承諾できる方)。 実験の都合により、午前 7 時以降にエネルギーのある飲食をしないでください		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。